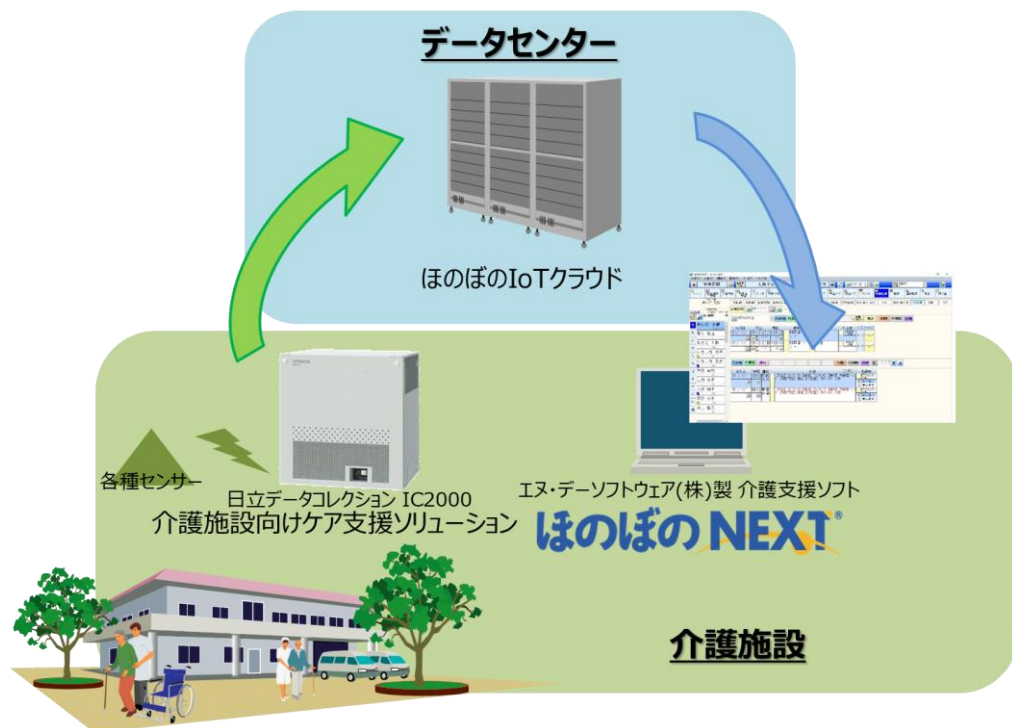


2019年9月4日

株式会社日立情報通信エンジニアリング

エヌ・デーソフトウェア株式会社

日立情報通信エンジニアリング「介護施設向けケア支援ソリューション」と
介護福祉ソフト分野で業界トップクラスのシェア
エヌ・デーソフトウェア「ほのぼのNEXT」が情報連携を開始
～センサー情報と介護支援ソフトの連携で介護スタッフの働き方改革を提案～



「介護施設向けケア支援ソリューション」と「ほのぼのNEXT」の情報連携イメージ

株式会社日立情報通信エンジニアリング(代表取締役社長:岩崎 秀彦、本社:神奈川県横浜市)と、エヌ・デーソフトウェア株式会社(代表取締役社長:佐藤 廣志、本社:山形県南陽市)は、各種センサー*1から情報を収集し、電話機への通知や情報の見える化で介護スタッフの業務効率化と利用者の安心・安全をサポートする「介護施設向けケア支援ソリューション」と、ケア記録や請求業務のICT化で業務の効率アップを実現する「ほのぼのNEXT」が相互連携し、センサー情報を介護支援ソフトに自動転記する機能を9月9日から販売開始します。

「ほのぼの」シリーズは、42,000を超える事業所様で利用されており、介護福祉ソフト分野で業界トップクラスです。(※2019年3月末 エヌ・デーソフトウェア調べ)

*1 各種センサー:排せつセンサー、温湿度センサー、バイタル測定器(体温計、血圧計、パルスオキシメーター)、見守りセンサー

昨今、国内における75歳以上の高齢者の全人口に占める割合は増加し、ますます少子高齢化が進む中、介護現場では、働き手不足が加速しています。

介護施設では安定した質の高いサービス提供を行うために、介護施設の働き手不足を解消すべく、業務の効率化が求められています。日々の介護記録を自動転記することで業務時間の削減に貢献します。

情報連携機能としては「介護施設向けケア支援ソリューション」のセンサー通知履歴、ナースコール/スタッフコール通知履歴、体温計・血圧計・パルスオキシメーターの測定情報*2 をクラウド上の「ほのぼのIoTクラウド」を経由し、「ほのぼのNEXT」*3の介護記録画面に自動反映することができます。これまで介護支援ソフトに手動で入力していた作業を自動で行うことで、業務時間の短縮および入力ミスの防止に貢献します。

*2 バイタル測定情報の連携提供時期は2020年春頃を予定しています。

*3 「ほのぼのNEXT」はエヌ・デーソフトウェア株式会社の登録商標です。

■製品に関するホームページ

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 「介護施設向けケア支援ソリューション」

https://www.hitachi-ite.co.jp/products/health_caresol/

エヌ・デーソフトウェア株式会社 「ほのぼのNEXT」

<https://www.ndsoft.jp/product/next/>

■仕様・価格について

各社製品の仕様・価格については各社問い合わせ窓口へお問い合わせください。

■商標に関する表示

記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■お客さまお問い合わせ先

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

IPTソリューション事業部 IPTシステム本部 IPTソリューション・サービス部

〒220-6112 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号 クイーンズタワーB 12階

電話:050-3163-5812 (直通)

エヌ・デーソフトウェア株式会社

ソリューション事業部 販売推進グループ

〒992-0479 山形県南陽市和田 3369

電話:0120-945-597 (フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、**URL** 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
